

認定看護管理者カリキュラム基準【サードレベル】

2012年2月7日改正

2017年3月2日下線部追記

【教育目的】

1. 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために看護の理念を掲げ、それを具現化するために必要な組織を構築し、運営していくことのできる能力を高める。
2. 看護事業を起業し運営するにあたって必要となる経営管理能力に関する知識・技術・態度を習得する。

教科目	ねらい	単元	単元の内容	時間
保健医療福祉政策論	1. 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理上に与える影響を考え行動できる。 2. 看護現場の現状を分析・データ化し、職能団体、行政機関等へ提示できる。	1) 社会保障の概念	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障の概念と関連法規 ・ 社会保障の資源 ・ 日本における保健医療福祉制度の動向 ・ ヘルスケア産業の動向 	30
		2) 諸外国の保健医療福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ WHOの活動とヘルスケア政策 ・ 国際機関の連携 ・ 諸外国及びわが国のヘルスケアシステムの現状 ・ わが国のヘルスケア提供者の市場と現状 ・ 世界の医療・看護の動向 ・ ヘルスケアサービスの国際的動向 	
		3) 保健医療福祉政策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最新の保健医療福祉政策 ・ 地域保健医療福祉計画 	
		4) 看護制度・政策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護制度の変遷と政策（マンパワー、教育、処遇など） ・ 看護政策に関する審議会・検討会 ・ 看護関係法規と今日的課題 ・ 看護管理への影響と対応／制度の変化について ・ 看護戦略とパワーの活用 	
		5) 制度・政策に影響を及ぼす看護管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護の国際化と看護管理者のリーダーシップ ・ 国際貢献 ・ 職能団体による政策への影響力 ・ 制度改革のための管理者の役割 	
		6) 保健医療福祉政策演習	保健医療福祉組織や看護の現状について、保健医療福祉に関する統計データ分析し、保健医療福祉サービス提供体制の改革ビジョンを策定する。また、保健医療福祉に関する政策提言を行う。	
保健医療福祉組織論	1. 社会が求めるヘルスケアサービスをアセスメントし、目的の達成を目指した看護の組織化を図るための諸理論を理解できる。	1) 保健医療福祉サービスのマーケティング	<ul style="list-style-type: none"> ・ マーケティング ・ ヘルスケアサービスの組織を創造するビジネスの動き ・ 地域のヘルスケアサービスに関わる社会資源 ・ 人的資源の分析 	30
		2) 組織デザイン論	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織デザイン ・ 組織デザインと人的資源の配置（<u>専門看護師、認定看護師、認定看護管理者、特定行為研修修了者等</u>） ・ 組織間ネットワークのデザイン ・ 療養環境のデザイン 	
		3) ヘルスケアサービスの創造	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルスケアサービス ・ ヘルスケアサービスのシステム構築 ・ 連携を基盤としたサービス ・ 在宅におけるヘルスケアサービス ・ 新しいヘルスケアサービス（国際的視座、等） 	

認定看護管理者カリキュラム基準【サードレベル】

教科目	ねらい	単元	単元の内容	時間
経営管理論	1. 経営者あるいはその一員として、経営管理の視点に立ったマネジメントが開発できる。	1) 医療福祉と経済論	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済学が追求するもの ・ 医療福祉の経済的問題 ・ 医療施設の経済的問題 ・ 看護の生産性 	60
		2) 医療福祉経営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療経営とは ・ 医療経営の構造 ・ 根拠にもとづいた医療経営 (EBM) ・ 医療保険制度と医療施設の経営 (DPC 等) ・ 介護保険制度と介護福祉施設の経営 	
		3) 財務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原価の基礎的概念 ・ 経営データ ・ 財務分析 ・ 病院会計準則 ・ 財務リスク 	
		4) 経営分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貸借対照表 ・ 損益計算書 ・ 財務分析 ・ 在庫管理 ・ 設備、機器等の投資計画と減価償却 	
		5) ヘルスケアサービスの経営と質管理・経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営資源の効率的・効果的運用 ・ 医療福祉サービスへの市場原理の導入 ・ 医療経営と総合的質管理 ・ 適正人員配置と経済性 ・ 看護必要度 ・ ベンチマーク ・ 顧客満足 	
		6) 看護経営の今後のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問看護ステーションの経営 ・ 看護師の多方面での起業 	
		7) 労務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賃金制度 ・ 人事考課 ・ 能力評価のためのシステムの構築 ・ 最新の労働関係法規の動向 ・ 建設的な労使関係の構築 	
		8) 人材フローのマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 募集と採用 ・ 異動と昇進 ・ 定着、離職防止 ・ 退職管理等 	
		9) 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織の危機管理 (災害、訴訟、経営上の危機等) ・ 医療事故防止のための組織的対策 ・ 組織における安全文化の醸成 ・ 暴力・ハラスメントへの取り組み ・ メディエーション、医療ADR (裁判外紛争処理) ・ コーポレートガバナンスの考え方 	

認定看護管理者カリキュラム基準【サードレベル】

教科目	ねらい	単元	単元の内容	時間	
看護経営者論	1. トップマネジャーが備えるべき要件について理解し、行動できる。	1) 経営者論	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営者に必要な能力（情報収集／分析力、企画力、意思決定、交渉力、戦略的コミュニケーション、企画書の作成とプレゼンテーション） ・ 経営者に求められる役割 ・ パワーの活用と戦略 ・ 経営者としての成長と熟練 	45	
		2) 管理者の倫理的 意思決定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理者の倫理的ジレンマ ・ 倫理的実践を推進するための看護管理 ・ 看護管理における倫理的 意思決定プロセス ・ トップマネジャーの 意思決定と倫理 ・ 倫理的感受性 		
		3) 看護事業の 開発と起業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護事業の開発 ・ ビジネスプラン ・ 起業家論 ・ 起業の実際 		
		4) 実習	すぐれた看護管理者のもとでシャドウイング（実習）を実施し、経営者およびトップマネジャーとしての役割、マネジメントの実際や備えるべき資質、要件を学ぶ。（実習計画の作成、交渉の実践を含む）		
統合演習	1. 教科目で学習した内容を統合、活用し、看護管理の向上をめざす。	統合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自組織について、組織分析し、経営者として組織の改善計画を立案する。 ・ 看護部門のトップとして組織分析し、看護部門の改善計画を立案する。 例として、ケースメソッドを用いた組織分析と改善計画立案の実施等	15	
保健医療福祉政策論		30	時間		
保健医療福祉組織論		30	時間		
経営管理論		60	時間		
看護経営者論		45	時間		
統合演習		15	時間		
総時間		180	時間		
<p>○演習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育機関の裁量により演習時間を設定する。ただし、総時間の1/3に該当する60時間を上限の目安とする。なお、「保健医療福祉政策演習」「統合演習」はこの時間内に含める。 ・ 「看護経営者論」の実習は演習に含まない。 					